



市制50周年を全校でお祝い

今年の市制50周年記念行事のほとんどが延期になりましたが、市制定日である、12月1日の給食の時間に、市制50周年記念コロッケ（左写真）を食べてお祝いしました。また、中継映像で市長と翼小学校栄養教諭



が話をするのをクラスごとに見ました。最後に健康体操を振り付けた市制50周年記念「高浜市テーマソング」を見ました。この歌は、愛着の湧くまち、高浜を歌い上げています。歌の中に12カ国語の「ありがとう」が入っていますが、高浜小学校の2人の子どももしゃべっています。コロナ禍の心配がなくなり、晴れて子どもたちがのびのびと歌ったり、踊ったりできることを願います。

※テーマソングの振り付けは、以下のURLよりご覧いただけます。

<https://www.city.takahama.lg.jp/soshiki/seisaku/16535.html>



カズンとの新たな出逢い

WAVE(ウェーブ)

君と君と出逢えた事が、僕が歌う勇気になる
夢はきっと波紋のように 広がっていく つながっていく 波はとまらない
君と君と出逢えた事は、僕らだけの事じゃなくて
君と君とそのまた君と 広がっていく つながっていく だから歌うのさ
夢を歌うのさ 君と歌うのさ



「ココロの落書き」は、もう一つの校歌として、子どもたちに歌い継がれ、特に卒業の頃に歌うと、子どもたちにはさまざまな思い出がよみがえってくるようです。歌っているのは、シンガーソングライターのカズン（右写真）です。詩は7年前に高浜小学校に在籍していた子どもたちと一緒に作ったそうです。できあがったときにこの高浜小学校でコンサートを開き、披露しました。あれからもう6年になります。ですから、在校生でカズンを見た人はいないのではないのでしょうか。みんなカズンがどんな人たちが知らずに歌っていると思います。カズンは、その後、自分たちのコンサートで「ココロの落書き」を歌い、多くの人々の共感を呼んでいるそうです。

今年、コロナ禍で世の中は沈みがちです。出会いの機会も少なくなっています。しかし、そんなときだからこそ、歌うことによって勇気をもってほしい、音楽でみんなの心を一つにしたい、そんな思いから、急遽、高浜小学校や全国の小学生の歌声を楽曲とともに、配信コンサートで流すことになったそうです。それが、「WAVE」です。

3密を避けなければならないときですが、呼びかけにより、なんと200人ほどの子どもたちが録音に参加することになりました（左写真）。事前にカズンオフィシャルサイトでそれぞれ練習してきており、1回の全体練習で本番に臨みました。どの子も意欲的で、歌い終わった後は、はつらつとした表情をしていて、自然に拍手が沸き起こりました。コンサートで子どもたちの歌声がどう響き渡るのか楽しみです。



カズンと直接会うことはできませんが、これも素晴らしい出逢いです。

なお、後日、コンサートの模様を無料配信するそうです。詳しいことが分かりましたら、またお知らせします。「あの歌を歌っている人たちに会いたい。」子どもたちのそんな思いが膨らんでいきそうです。

（文責 中川健二）